

ふくしま 地域活動団体 サポートセンター News Letter 2012.vol.1

- 2012年度事業スタート
- “いま”を駆ける。地域活動者たち（活動団体紹介）
- Shake hands Fukushima～協働事業は進行中～
- チャレンジ！助成金情報
- 「お役立ち講座」開催のお知らせ
- けやきの木陰で～フリーエッセイ～
- 編集後記

2012年度事業スタート

■地域活動団体を応援します

福島県の「地域活動団体等の活動基盤支援事業」の一環として、2012年度のふくしま地域活動団体サポートセンターがスタートしています。今年度からは特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンターが運営を受託し、地域活動に役立つ講座の開催や情報発信などの団体支援事業の拠点センターとしての役割を果たしていきます。

“基盤支援事業”は新“うつくしま、ふくしま。”県民運動の理念—地域のきずなを強め、互いに支え合う良好な地域社会の形成—と内閣府が示す「新しい公共支援事業」の趣旨に合った活動をおこなう団体を支援する事業で、言い換えれば、地域の課題解決に自主的、主体的に取り組むNPOや市民活動団体など、これからの地域社会づくりに力を発揮する民間非営利組織を応援する事業です。

数々のプログラムがありますので、これからのお知らせをお見逃しなく。



◀パッションからミッションへ
それぞれの目標を胸に
スタートしました

●予定されているプログラム

講座の開催	団体や活動の広報に関する講座
	ネットを活用した寄付獲得のための講座
	金融機関からの資金融資に関する講座
	「認定NPO」についての講座・相談会
	ファンドレイジング（資金調達）講座
	団体や活動のマネジメントに関する講座
情報発信	NPOの会計に関する講座
	ホームページを開設するための講座
	ニュースレターの発行（偶数月）
	ネット・携帯サイトでの情報発信
その他	「福島県NPOアクセスページ」の発行
	「NPO運営 Q and A」の発行
	会計や経営に関する専門家の出張相談
	地域課題解決に向けた意見交換会の開催
	NPOなどの地域活動に関する相談対応

■福島県 企画調整部 文化スポーツ局 文化振興課

内閣府の「新しい公共支援事業交付金」を活用した本事業は、地域の課題解決のため活動しているNPOやボランティア団体などの団体を支援するために、ふくしまNPOネットワークセンターに業務を委託して実施するものです。

地域活動団体ではその設立目的に沿って様々な活動を展開しているほか、東日本大震災の被災者支援においても、様々な取り組みを行ってくださっていますが、その安定した継続的

大谷英明課長からのメッセージ

な活動のためには、必要な情報公開を行うなど寄附や融資を受けやすい環境を整えるとともに、マネジメントや財務に精通した担手を育成するなど、活動基盤の整備が欠かせません。

ぜひ本事業を御活用いただき、本県の地域コミュニティの維持・再生に大きな成果が上がることを御期待申し上げます。



「いま」を駆ける。地域活動者たち

NPO法人 和（なごみ）

二本松市

NPO法人和（なごみ）は障がい者の就労支援事業とグループホームを運営しています。就労支援事業では、お豆腐、こんにゃくの製造販売や軽作業の受託、リサイクル品の販売など4つの事業所で幅広い就労継続支援をおこなっており約40人の利用者がいます。

お豆腐は福島県産大豆使用を売りにしていましたが、原発事故による風評のため県外産に変えざるを得なくなっていました。それでも、東京の飲食店に販売していて、おしずは折り紙つきです。道の駅「安達」などで販売しています。

震災に負けず、今後はインターネット通信販売も始める計画で、利用者の工資アップを目標に前向きに取り組んでいる元気なNPOです。



▲熱心な作業のようす



▲笑顔まん丸

■南相馬市市民活動サポートセンター

南相馬市

市民活動に多様な支援ができる場として平成17年4月1日に開設し、各団体を繋ぎながら支援しています。昨年の3月11日震災発生以降、新たな活動団体の設立や他地域の団体が南相馬市に活動拠点を設置したいというニーズを受け、センターの登録団体数は増加中です。（現在50団体）

「いま、団体の活動を見守りながら必要とところに支援をおこない、各団体に主体性を持たせることを大事にしています」と、小畑達子事務局長は話します。「今後は、助成金情報などの受発信に力を入れ、持続性とマネジメント力アップを支援することと、市内に点在しているボランティア活動全体を把握することで、活動の効率を高めていきます」これからも地域活動の力強い拠点としての運営は続きます。



中央：小畑事務局長 左：スタッフ皆さん



▲活動拠点に集合!!

Shake hands Fukushima ～協働事業は進行中～

■「チョコラボ」事業紹介（事業名：空き店舗を活用した避難住民のビジネス・サロンの場を通した起業化・雇用創出支援）

平成24年3月より、福島駅前通りの空きビルを借りて、誰もが、いつでも気軽にご利用いただけるフリースペース「チョコラボ（愛称）」をオープンしました。このチョコラボは、平成23・24年度「福島県地域づくり総合支援事業（地域協働モデル支援事業）」の震災対応枠の助成金を受け実施しているもので、震災で県北地域に避難されている方々の、特に借上げ住宅にお住まいの方々の会合や集会、就職やサークル活動等をはじめ、各種セミナーやワークショップ、展示会などにどなたでもご利用いただける施設です。



▲利用者主催のワークショップ

福島駅前の錦ビル4階の約40坪のフロアには、談話・サロンスペースに情報コーナー、ワーキングスペース、ミーティングルームがあり、パソコンやプロジェクター、コピー・ファックスなどの設備機能も備えています。利用は、月～土曜日の午前10時～午後6時まで、休業は日曜・祝日、利用期間は平成25年3月末までとなっています。

また、当事業は、従来の行政や民間といった枠を超えた

市民と行政との協働は、復興へ向けて大きな力を発揮できると期待されています。現在おこなわれている「福島県地域づくり総合支援事業（地域協働モデル支援事業）」の活動のようすをお伝えします。

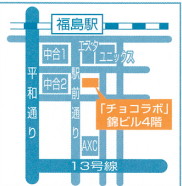
「新しい公共」事業として福島市や福島商工会議所、(株)福島まちづくりセンターに南相馬市や浪江町、飯館村の被災地自治体と住民、福祉や復興支援関連のNPO団体等との連携と協力のもとに実施しています。

新年度スタートから3ヶ月が過ぎた現在、会合やセミナーの開催、ワークショップに展示会などの利用で訪れる方も徐々に増えております。今後は被災者の皆さんへの広報活動をはじめ、就職活動や起業に役立つ実践セミナーの開催などを進めて、より多くの皆さん方に利用していただく考えです。

（チョコラボチーフ 深田俊雄）



▲セミナーへの参加者



チャレンジ! 助成金情報

項目
A: 助成名称 B: 実施団体 C: 助成対象者
D: 申込期限 E: 事業実施期間 F: 助成金上限
G: 関連サイトのURL

これからでも申し込みできる助成金情報です。内容は抜粋していますので、詳細は実施団体やホームページでご確認ください。

これからでも間に合う助成金情報

◆活動全般対象助成金

- A 地域づくり総合支援事業（サポート事業）
B 福島県
C 民間団体（一般枠）
■県北：10/31まで随時 ■県南：二次募集8月中旬まで
■相双：二次募集9/28まで ■いわき：9/20まで
■随時上記以外は各地方振興局へお問い合わせください
E 原則1年。最長3年間継続が認められる場合もある
F 100万円～700万円。事業内容によって異なる
G <http://www.cms.pref.fukushima.jp/>
A ①社会変革事業助成プログラム
②ファンドレイズ事業助成プログラム
B NPO法人 チャリティ・プラットフォーム
C 非営利団体。任意団体や団体設立を目指す個人も可
D 通年
E 1年間
F 制限なし。前年度総支出額の10%までを目安とする
G <http://www.charity-platform.com/to-npo/aid.html>

◆被災者支援・復興活動対象助成金

- A タケダ・いのちとくらし再生プログラム 助成事業
B NPO法人 日本NPOセンター
C 被災3県で活動する非営利の組織。法人格の有無や種類は問わない
D 2012年7月2日～2012年7月11日（消印有効）
E 2012年10月1日から1年間（最長3年間の継続あり）
F 助成1件につき500万円～1,000万円（総額3,000万円予定）
G <http://www.inochi-kurashi.jp/>
A 「共に生きる」ファンド（第10回）
B ジャパン・プラットフォーム
C 法人格を持つ非営利団体
D 8月上旬を予定（7月HP掲載予定）
E 初回の助成申請の場合最長3ヶ月まで。再申請する場合は最長1年間まで申請可能
F 100万円～1,000万円の実績により異なる
G <http://www.japanplatform.org/>
A LUSH東日本大震災復興支援チャリティ
B 株式会社 ラッシュジャパン
C 東日本大震災の被災者支援および被災地復興支援活動の実績がある団体。法人格の有無は問わない
D 毎月月末
E 最長で1年間。継続支援も可能
F 10万円～200万円
G <http://www.lushjapan.com/ethical/charitybank/>

◆福祉活動対象助成金

- A 福祉車両助成
B 日本財団
C 社会福祉・財団・社団・特定非営利活動法人など
D 2012年6月15日10:00～7月2日17:00（インターネット申請）
E 原則として2013年1月から3月末までの間に順次納車
F 車両の種類によって助成金額を設定
G <http://www.nippon-foundation.or.jp/index.html>
A 日本メイスン財団助成金
B 一般財団法人 日本メイスン財団
C 非営利法人、慈善団体
D ・一般募集 2012年9月30日
・特別募集 緊急性の必要がある場合は随時受け付け
E 2013年度
F 200万円程度
G <http://www.tma-japan.org/index.html>

- A 社会福祉助成金
B 一般社団法人 松翁会
C 法人・団体。法人格がなくても対象になる場合あり
D 2012年7月末日（消印有効）
E 2012年10月～2013年3月
F 60万円（助成金総額700万円以内）
G http://shouhoukai.or.jp/zaidanhojin_shouhoukai/index.html

◆環境保護活動対象助成金

- A NFD one leaf fund
B 公益社団法人 日本フラワーデザイナー協会
C 対象事業を行う団体・個人
D 2012年8月31日（消印有効）
E 2013年4月～2014年3月
F 80万円（助成金総額300万円）
G <http://www.nfd.or.jp/>
A 日野自動車グリーンファンド助成事業
B 公益社団法人 日野自動車グリーンファンド
C 団体・グループ・個人。団体については設立2年以上で活動実績のあること
D 2012年5月16日～2012年7月31日（消印有効）
E 2012年11月1日～2013年10月31日
F 助成金総額750万円程度予定
G http://www.hino-global.com/j/csr/greenfund/greenfund_index.html
A 公益信託大成建設自然・歴史環境基金助成金
B 大成建設 株式会社
C 自然環境または歴史環境の保全・保存および活用のために、市民活動や研究を行う非営利団体等
D 2012年7月31日事務局必着
E 原則として助成金振込日より1年間
F 助成金総額1,500万円程度、助成件数20件程度
G http://www.taiei.co.jp/about_us/society/kikin/index.html

◆文化活動対象助成金

- A 福島県文化振興基金助成事業
B 財団法人 福島県文化振興基金
C 団体・個人
D 第2期2012年4月1日～7月31日・第3期2012年8月1日～10月31日。事業種別によって差異あり
E 第2期2012年8月1日～11月30日・第3期2012年12月1日～2013年3月31日。事業種別によって差異あり
F 上限5万円～1,050万円・助成割合1/3～4/5。事業種別によって異なる
G <http://www.pref.fukushima.jp/bunka/sinkoukikin/shinkou-kikin.htm>

◆その他

- A TechSoup Japan（テックスープ）
B NPO法人 日本NPOセンター
C 法人格をもつ非営利団体
D 特に規定なし
E 特に規定なし
F ソフトウェアを低料金で利用できる
G <http://www.techsoupjapan.org/>
A 第67回リユースPC寄贈プログラム
B NPO法人 イーバース
C 日本国内を拠点に非営利活動を行っている団体
D 2012年8月公募予定
E 特に規定なし
F リユースPCの無償提供が受けられる
G <http://www.eparts-jp.org/>

参加
無料

「お役立ち講座」 開講のお知らせ

地域活動団体のスキルアップと支援をめざして、平成24年度の講座がスタートします。

いずれも受講無料ですので、お気軽にご参加ください。

●8月
●9月

開
講

コミュニケーションが見える!「広報戦略」講座

◆講座内容

- 1 広報に取り組む前に
◇気をつけたいポイント
- 2 情報伝達の選択肢を広げる
◇印刷物からwebの活用まで
- 3 プロが伝授する「伝える力」
◇体験型でPRポイントをつかもう!
- 4 情報開示
◇標準開示のフォーマットを活用しよう

◆講 師

- 鈴木 一海
働ぶらっとweb放送 代表取締役
- 盛藤 隆伸
働ぶらっとweb放送 取締役

※お問い合わせは、ふくしま地域活動団体サポートセンターへ
(連絡先は下記にあります)

日付	会 場	開催地
8/9 (木)	コラッセふくしま 4階 小会議室402	福島市
8/23 (木)	いわき市生涯学習プラザ 4階 大会議室1	いわき市
8/30 (木)	須賀川市中央公民館 研修室	須賀川市
9/6 (木)	喜多方プラザ文化センター 2階 第2会議室	喜多方市

※講座時間はすべて《13:30~16:00》です。

秋の開講予定

- ファンドレイジング(資金調達)講座
- 金融機関からの資金融資に関する講座
- 「認定NPO」についての講座・相談会
- ネットを活用した寄付獲得のための講座



けやきの木陰で

～フリーエッセイ～

地域活動団体の原点を懐古する
エッセイをお寄せいただきました。

川で地域の健康診断

むかし京都で学生をやっていたころ、比叡山のふもとに住んでおまして、家の近くを白川という小川が流れていました。白砂を敷きつめたような美しい川でしたが、残念なことに上流からゴミが流れ落ちてくるのです。せっかくの名川が台無しだと思った私は、一人でせっせとゴミ拾いや草刈りを始めました。でもゴミは雨が降るたびに流れ下ってくるので、隙限がありません。そうこうしているうちに、私のその姿を見ていた人が声をかけてきました。その人は地域で環境保全の運動をしている市民団体のリーダーだということでした。

そして、白川のこのゴミが一体どこから流れてくるのか、一緒に見に行こうと誘ってくれたのです。案内されて行ってみると、実に、比叡山という山はあちこちゴミの不法投棄で満身創痍であることが分かりました。「川は血管、河水は血液、ゴミは悪玉コレステロール」です。川を観察していると地域の病気が見えてきます。貴重な経験でした。

〔執筆〕清水修二(福島大学経済経営学類教授)

ふくしま地域活動団体サポートセンター
運営受託：特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

〒960-8043
福島県福島市中町8番2号福島県自治会館7階

TEL：024-521-7333

FAX：024-523-2741

E-Mail：saposen@f-npo.jp

U R L：http://www.f-npo.jp/saposen/



QRコードから携帯サイトまで
ご覧いただけます。



編集後記

- 地域活動に情熱を傾ける皆さんのお役に立ちたいと思います。(哲)
- すべての経験が学び。元気に前向きに取り組んでいきましょう☆(香)
- 皆様と一緒に勉強して1年間頑張りますので宜しくお願いします。(幹)
- 復興とは「私にできること」をまずはやること。そう思っています。(英)
- これから暑い夏がやってきますが、その暑さに負けずに頑張ります! (菜)